

## 令和2年度 市政アンケートモニター調査 反映状況

	調査項目（実施課）	反映状況
1	食品ロスに関するアンケート調査 （ごみ減量推進課）	<p>《令和3年10月 実施》</p> <p>昨年度実施した市政アンケートモニター調査で、食品ロス削減に関する推進法が令和元年10月に施行されたが、「法施行を知らない」と回答した割合が75%であったため、啓発について検討し、10月の1か月間市内事業者と協働でフードドライブ啓発キャンペーンを実施する中で、法律の認知度及び食品ロス削減に向けた啓発を実施した。</p>
2	電子申請サービスに関するアンケート調査 （デジタル化推進課）	<p>《令和4年3月 実施》</p> <p>各種手続のため市役所・区役所に来庁しているという回答が96.6%、そのうち身分証明書や印鑑等を持参する手続や手数料納付が必要な手続ものは95.8%であり、仕事を休んで来庁された方が37.8%であった。 このため、市役所・区役所に行かずに手続ができる環境構築に向けて、公的個人認証やオンライン決済機能がある新たな電子申請システムを導入し、従来の電子申請システムからの手続移行を令和4年3月までに完了した。</p> <p>《令和5年3月までに実施予定》</p> <p>公的個人認証やオンライン決済機能を使用した手続の利用方法等を整備し、オンライン手続の拡大に向けた検討を進めていく。</p>
3	防災情報の取得に関するアンケート調査 （危機管理総室）	<p>《令和4年度 実施中》</p> <p>災害時に防災情報の取得に利用する媒体について、「スマートフォンやタブレット端末、パソコン等電子通信機器を利用する」と回答した人が87.9%であり、その内「インターネットにより情報収集する」人が72.5%だった。インターネットでの防災情報の取得ニーズが高いことから、令和4年度中に「防災情報ポータルサイト」を構築する。 さらに、ポータルサイトへの掲載内容も、アンケート結果を参考に、市民が必要とする災害関連情報を、一元的かつ速やかに提供できるように構築を進めていく。</p>
4	静岡市のお茶に関するアンケート調査 （農業政策課）	<p>《令和3年3月 実施》</p> <p>お茶の購入に参考になる情報として、「お茶の色・香り・味」が77%と最も多く、「茶畑の場所・特徴」(62%)、「生産者のこだわり」(53%)という意見もあったことから、お茶農家やお茶工場の方々が、産地やこだわりを語ったインタビュー動画やおすすめの商品を掲載したWEBページ「お茶の匠たち」を作成・公開し、情報発信を行った。</p> <p>《令和3年5月 実施》</p> <p>静岡市は「お茶のまち」だと思う人が95%である一方で、「静岡市のお茶」や「お茶のまち」についての情報発信が少ないという意見もあったことから、新茶PRイベント「茶縁」及び関東圏の日本茶インストラクターを対象にしたオンラインセミナーを開催し、「静岡市の山のお茶」に関する情報を市内外に広く発信した。</p> <p>《令和4年4月～ 実施予定》</p> <p>「静岡市がお茶のまちであることを誇りに思う」(94%)という設問は、第2次静岡市茶どころ日本一計画の目標指標となっており、調査結果を計画の進捗状況把握、令和4年度の計画の中間見直し等へ活用していく。</p>

	調査項目（実施課）	反映状況
5	感震ブレーカーの設置に関するアンケート調査 （危機管理総室）	<p>             ≪令和3年8月、令和4年3月 実施≫              アンケートより、新築時に知っていればよかったとの声が複数寄せられたことから、新築に的を絞った資料（新築住宅のみを対象とした感震ブレーカー設置事業補助金のチラシ）を作成し、市内のハウスメーカー37社に配布した。              市・区の公式Twitterや、県・中部電力の防災アプリなど、SNSを活用した情報発信を行った。           </p> <p>             ≪令和4年度 実施予定≫              延焼火災の危険性が高い住宅密集地域に限定し、自治会を通じて感震ブレーカーの設置を呼びかけることを検討中。              （現在、新型コロナウイルスの関係で半導体不足のため申請しても工事ができないとのことから、タイミングをみての実施を検討）           </p>
6	清水区広報キャラクター「シズラ」に関するアンケート調査 （清水区役所地域総務課）	<p>             ≪令和4年3月2日 実施≫              令和4年3月2日を語呂合わせで「432（しみず）の日」、同年2月26日～3月6日を「しみずスペシャルウィーク（SSW）」と銘打ち、様々なイベントを行った。              その中で、432の日記念啓発品として、マスコットストラップを作成。各種イベントにて配布することで、シズラを広くPRすることができた。           </p>